

株主通信 秋号

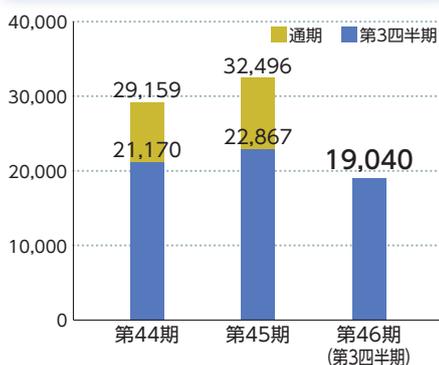
平成28年9月期 第3四半期業績のご報告
(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

本株主通信は平成28年3月末時点での株主の皆様にお送りいたしますことをご了承ください。

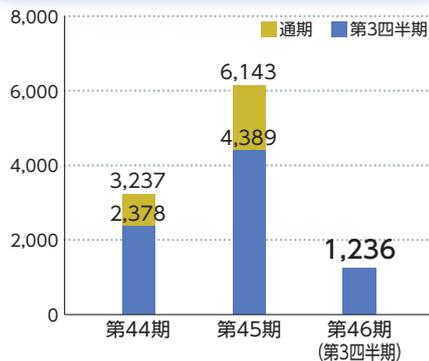
株式会社 **日本マイクロニクス**
証券コード：6871

株主・投資家の皆様へ

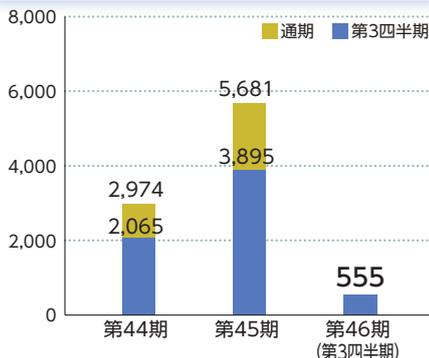
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(百万円)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

半導体市場においては、スマートフォンやタブレット端末向けデバイスの市況鈍化により、デバイスメーカーによる生産調整が行われ低調に推移しました。

FPD市場においては、スマートフォン向け中小型液晶パネルの需要が底堅く推移した一方で、大型液晶パネルは価格面での厳しい環境から設備投資は限定的な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは、引き続き中期経営計画『Challenge17』を推進し、新たな成長のステップを確実に踏むための地盤づくりを行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高19,040百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益1,236百万円（前年同期比71.8%減）、経常利益1,122百万円（前年同期比75.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益555百万円（前年同期比85.7%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月

代表取締役社長

長谷川 正義



営業の概況



プローブカード事業

プローブカードは、スマートフォンやタブレット端末向けモバイルDRAM用アドバンスドプローブカードの売上が低調に推移しましたが、受注面では回復基調となりました。利益面においては、売上高の減少に加え将来のための積極的な開発投資等を継続して行った結果、前年同期より減益となりました。

この結果、売上高は15,621百万円(前年同期比21.8%減)、セグメント利益は2,620百万円(前年同期比56.3%減)となりました。

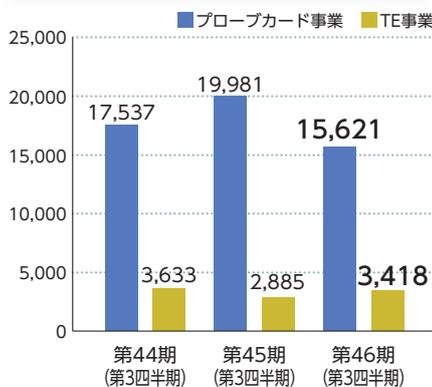
TE事業

LCD装置関連では、事業移管に伴いLCD検査装置は低調でしたが、プローブユニットについては堅調に推移しました。一方、半導体装置関連では、半導体テスタの高需要もあり堅調に推移しました。利益面においては、売上高増加の影響もあり、前年同期比増となりました。

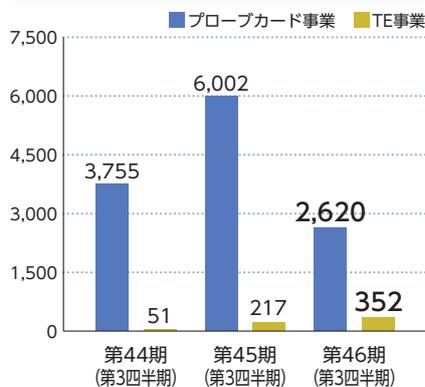
この結果、売上高は3,418百万円(前年同期比18.5%増)、セグメント利益は352百万円(前年同期比62.0%増)となりました。



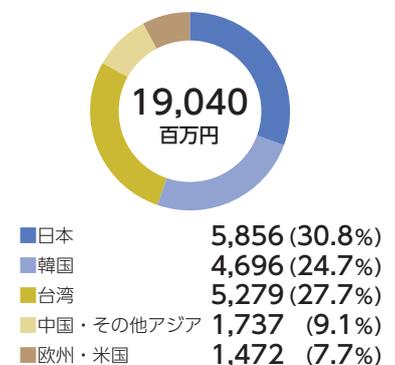
セグメント別売上高 (百万円)



セグメント別営業利益 (百万円)



地域別売上高構成比 (百万円)



通期業績予想

売上高

28,500 百万円

営業利益

1,800 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

1,100 百万円

1株当たり配当金

15 円

※当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
※記念配当5円(中間配当済)を含みます。

※平成28年5月10日付の通期連結業績予想から変更ございません。

トピックス ■ Semiconductor Wafer Test Workshop

本年6月5日～8日に、米国サンディエゴにて「SWTW(Semiconductor Wafer Test Workshop) 2016」が開催されました。今年で26回目を迎えたSWTWは、半導体検査関連のワークショップ、展示会としては世界最大級のものであります。

当社はメインスポンサーの1社として、アメリカ半導体ウェーハテスト業界における、より一層の地位確立と、潜在顧客獲得に向けた製品拡販のため出展しました。

今後も引き続き、米国等の世界市場で、プローブカードをはじめとする当社製品のビジネス拡大に向けて、積極的に営業活動を展開していきます。



株式事務についてのご案内

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株式会社 **日本マイクロニクス**
MICRONICS JAPAN CO., LTD.

本社 〒180-8508 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-6-8
HPアドレス <http://www.mjc.co.jp/>